

主な内容 ページ

まちの話題 2 ~ 3

全国町村会定期総会で阿久比町が全国町村会から「優良町村」として表彰された話題などを紹介。

「アクティブあくい」でスポーツを 4

総合型地域スポーツクラブ「アクティブあくい」会員を募集。主役は“みなさん”です。

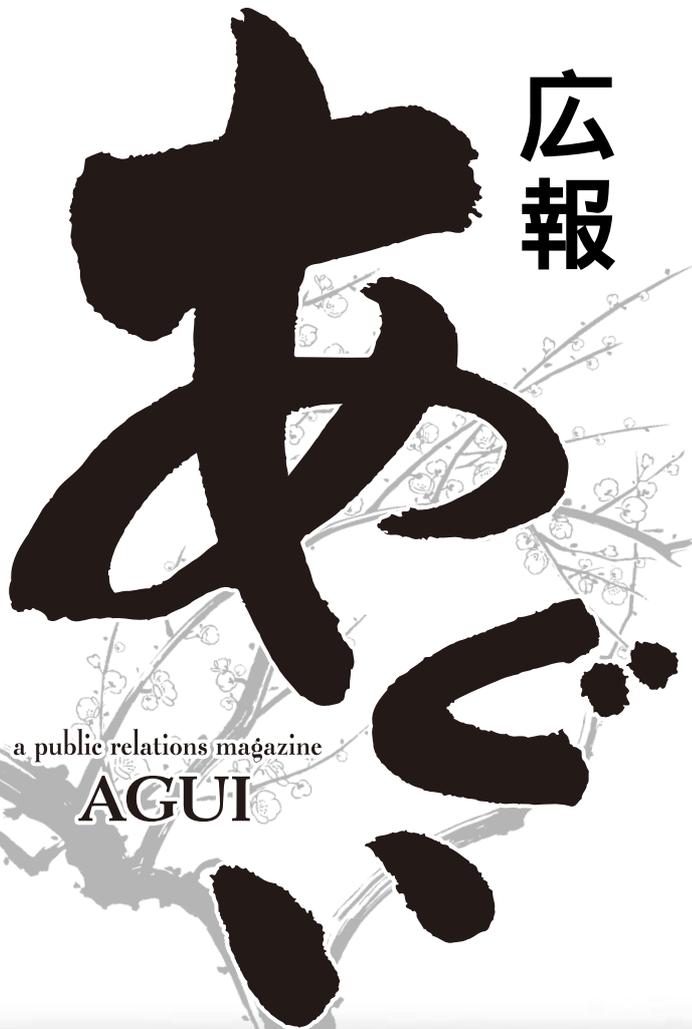
災害時要援護者登録制度 5

災害時に支援が必要な方の名簿を作成し、いざというときに備えます。

あくいぶらり旅 10

平泉寺南付近をぶらり。訪れた場所には、不思議な事実が....

# 広報



阿久比町  
マスコットキャラクター

## アグピー

2010年

3 月

1 日号

毎月1日・15日発行



### “皆さんに報告です”

阿久比町が全国町村会から「優良町村」として表彰され、阿久比町民の“活力と努力”がたたえられました(詳細は2ページで紹介)。町内各地で表彰を祝うかのように町の花「梅」が見ごろを向かえ、春の息吹が芽生えてきました。

～まちの話題～

阿久比町が  
「優良町村」  
として表彰

祝

皆さんと一緒に取り組んできた成果です

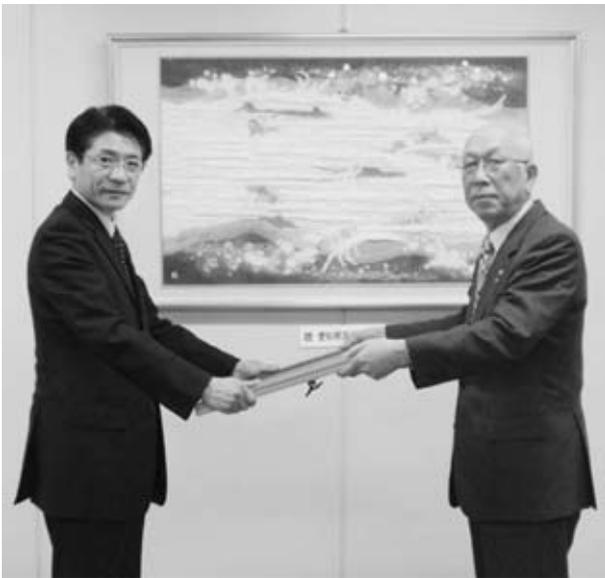
1月29日、全国町村会定期総会で阿久比町が全国町村会から「優良町村」として表彰されました。

全国にある978町村の中から、今年度は48町村が対象となり、県下では唯一の表彰です。

日ごろから健全財政に努めながら堅実なまちづくりを進め、小中学校校舎の耐震化を早急に行うなど「安全で安心して暮らせるまちづくり」の推進、幼保小中一貫教育プロジェクトによる次世代の育成、町全体でホテルを大切に保護する環境への取り組みなど、町民の皆さんと行政が一緒になって取り組んできた姿勢が評価されました。

これまで、町のために尽力いただきました多くの方に感謝します。阿久比町民の“活力と努力”がたたえられ、町民すべての皆さんに贈られた表彰状です。

記念品として伝統工芸「江戸切子」のガラスの花瓶も贈られました。栄えある表彰状と記念品は、役場玄関ロビーに展示してあります。ご覧ください。 阿久比町長 竹内啓二



町民を代表して、江戸満 町村会長から表彰の伝達を受ける竹内町長



防災ずきん作り



防災ずきん作りに取り組む参加者

町赤十字奉仕団が、2月16日中央公民館で「防災ずきん作り講習会」を開きました。各地区赤十字奉仕団の班長19人が参加。あいち防災リーダー3人の指導の下、バスタオルを使った防災ずきんの作り方を学びました。

防災ずきんは、避難のときにかぶる以外にも、ずきんの中に下着や靴下などが縫いつけてあり、避難所生活で役立つ日用品を備えています。防災リーダーは、「学んだことを地区の皆さんに伝えてください」と参加者に呼び掛けていました。

たこ揚げで地域の交流を図る



たこ揚げを楽しむ子どもたち

2月14日植地区で「植風祭り」が行われ、権現山南農道一帯で、自慢の手作りだこが大空に舞いました。

多くの家族連れのほかにも、「豊橋」「安城」など三河地方の地名が入った、凧愛好家の法被姿も見られました。この日は、平成21年に生まれた子どもの名前が書かれた「出世凧」と呼ばれる「阿久比ごんぎつねクラブ」製作の大だこも揚げ、祭りを盛り上げていました。

# オアシススケッチ

## 一本のロープから友情の「絆」が生まれる



「ロープ・ジャンプ・エクストラ」東海・北陸予選（1月30日愛知県武道館）で準優勝に輝いた英比小学校6年生の児童20人が、2月8日町長室へ結果報告に訪れました。

ロープ・ジャンプ・エクストラは、10メートルの大縄を10人以上で跳び、跳んだ数や縄に入れ替わった回数を合計したポイントで競う、日本レクリエーション協会などが推奨する新しいスポーツです。

児童たちは「一つの目標に向かって、みんなで力を合わせて頑張ることができました」と、うれしそうに感想を話していました。

## オペラを交え講演会



オペラを上演する大塚さん

弁護士の<sup>いくこ</sup>大塚<sup>さん</sup>を講師に迎え、あいち男女共同参画財団、あぐい女性の会、町教育員会の共催で「男女共同参画講演会」が2月13日、中央公民館本館で開かれました。

大塚さんは「オペラで綴る法律のお話」と題して、法律の話とオペラのストーリーを結び付けて講演を行いました。モーツァルトの喜劇オペラ『ドン・ジョヴァンニ』の上演後、「男女共同参画社会の実現には、同じ仲間意識を持ち、プラス志向の社会を作ることが大切」と話していました。

## 真剣にドッジボール



交流試合を楽しむ子どもたち

2月9日、町立保育園（英、草木、北原、宮津、城山）の年長児が城山保育園に集まり、ドッジボールの交流試合を行いました。

子どもたちは、ドッジボールが大好き。卒園を前に園児たちが一堂に会し、試合をするのが毎年恒例の行事となっています。

ボールを投げるときの表情は真剣そのもの。試合に勝つため、園児たちは一つのボールに集中していました。

## 子どもたちが紙すきを体験



紙すきを体験する中部保育園の園児たち

2月12日中部保育園年長児が「紙すき」を体験し、ポストカードを作りました。

子どもたちに手作りの良さを実感してもらおうと、阿久比町商工会青年部が地域貢献事業の一環で、町内の保育園で紙すきを園児たちに紹介しています。中部、南部、北原、東部の4つの保育園で実演が行われました。

中部保育園の園児たちは、出来上がったカードにお父さんやお母さんへ感謝の気持ちを書いて「卒園式」で手渡すそうです。

## 自慢のそばを味わう



そば打ちの実演を見つめる高齢者

2月1日、町社会福祉協議会ボランティアセンター所属の「阿久比メンズクラブ」が、福住宅老所（福住老人憩の家）を訪れ、宅老所利用者に自慢の手打ちそばを振る舞いました。

クラブのメンバーは施設などを訪問して、そば打ちの実演を行い、水とそば粉にこだわった「そば」をごちそうしています。福住宅老所を訪れるのは、今回で3回目。「毎回おいしいそばが食べられて、幸せです」と高齢者はうれしそうにそばを食べていました。

# 「いつでも、どこでも、 だれでも、いつまでも」

## 楽しくスポーツを **総合型地域スポーツクラブ** **アクティブあぐい**

### 平成22年度会員を募集

#### 【会費】

大人	5,000円 / 年(スポーツ保険料込み)
小人(中学生以下)	3,000円 / 年(スポーツ保険料込み)
シニア(65歳以上)	4,300円 / 年(スポーツ保険料込み)
非会員	1回 200円

会員は、定期的な活動は無料で参加できます。  
その他の活動も会員料金で参加できます。

#### 【受付日時・場所】

3月8日(月)、12日(金)、22日(月)、24日(水)、  
26日(金)、29日(月)  
午前10時～正午 阿久比スポーツ村で入会を受け付けます。

#### 【活動】

<定期的な種目>	曜日	時間	期間	内容
フォークダンス教室	毎週金曜日	午後7時30分～午後9時	通年	定番のダンスからワルツまで楽しく踊ります。
健康体操教室	第1・3・5水曜日	午後7時30分～午後9時	通年	キュートなリズムに合わせ、心も体もリフレッシュ。
小中学生バレーボール教室	毎週土曜日	午前9時～正午	通年	初心者大歓迎。
ヒップホップダンス教室	第2・4水曜日	午後7時30分～午後8時30分	通年	ダンスで素敵な汗を流しましょう。
親子ビーチボールバレー教室	第1・3・5木曜日	午後7時30分～午後9時	4月～8月	子どもだけでも参加できます。
みんなでウォーキング	第2日曜日	午前9時～正午	通年	新しい発見を求めて、歩きませんか。
グラウンドゴルフ	第4日曜日	午前9時～正午	通年	誰でも気軽に楽しめます。

場所は、すべて草木小学校

<その他の活動>	開催時期
体力テスト	年1回(5月予定)
バスハイク	年1回(8月予定)
グラウンドゴルフ大会	年1回(10月予定)
ボウリング大会	年2回(7月・2月予定)

#### ◆◆◆ 総会を行います ◆◆◆

日時：3月28日(日)午後1時30分～  
場所：草木公民館2階ホール  
会員の方は、ぜひ出席してください

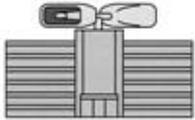
#### 《問い合わせ先》

アクティブあぐい(担当：竹内) ☎090-6617-9101

総合型地域スポーツクラブは、子どもから高齢者まで(多世代)さまざまなスポーツを愛好する人々が(多目的)初心者からトップレベルまで、それぞれの志向・レベルに合わせて参加できる(多志向)地域住民により自主的・主体的に運営されるスポーツクラブです。  
総合型地域スポーツクラブ「アクティブあぐい」では、年間を通して活動を続けています。  
主役は「みなさん」です。クラブに参加してスポーツを楽しみませんか。

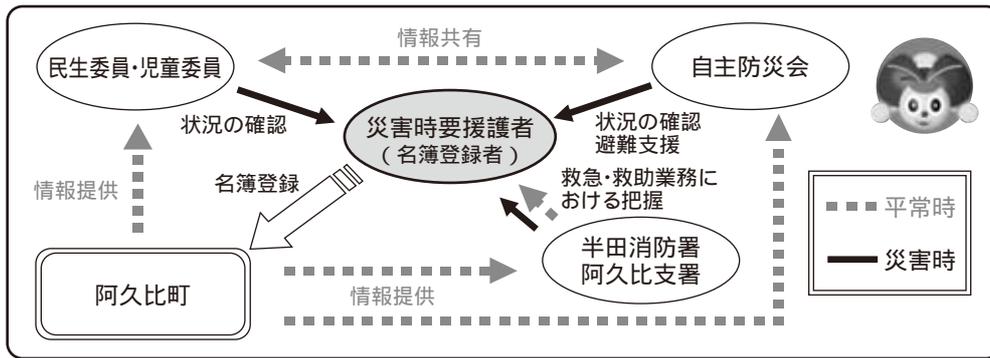


フォークダンスを楽しむ「みなさん」



## 行政無線情報は電話でも

防災行政無線が聞き取りにくい場合は ☎(48)7030 へ問い合わせてください。最新のメッセージを聞くことができます。



# 防災への意識改革

129

安全で住みよいまちづくり

防災交通課 ☎(48)111 (内208)

## 災害時要援護者登録制度

災害に備えて

要援護者名簿を  
作成します

地域全体で災害時要援護者を見守ります

「災害時要援護者」とは、災害が起こったときに、在宅で心身が不自由な高齢者や障害者、家族の支援が受けられない一人暮らしの高齢者など、自力で避難することが難しく、支援を必要とする方です。

大規模な災害では、消防機関などの救助も遅れ、「歩行が困難」「周囲の状況が分からない」「隣近所に支援してくれる人がいない」などの理由で、災害時要援護者は、地域で孤立してしまふ恐れがあります。

地域全体で要援護者を見守る必要があります。災害時要援護者名簿の登録に協力をしてください

町では、災害時要援護者を支援する地域の防災・福祉活動に活用するために要援護者本人からの申請による名簿を作成し、登録者の情報を平常時から、各地区の自主防災会、民生児童委員、半田消防署阿久比支署などと共有します。

関係機関で共有する要援護者情報は、保護の必要な情報ですので、適切な管理に努めます。

災害時には不測の事態も想定されます。名簿への登録は、優先度や確実な支援、安全を保障するものではありません。各家庭で災害時に対して備えておくことが重要です。

名簿登録の対象となる方  
自宅生活し、同居する方の支援がなく「災害時に自力で避難することが困難な方」を対象としています。

要介護三以上の方  
身体障害者手帳第三級以上で「R身体障害者旅客運賃割引規則の第一種の方」  
精神障害者保健福祉手帳第三級以上の方

療育手帳C判定以上の方  
愛知県特定疾患医療給付を受給している方のうち、重症患者の認定を受けている方、又は神経系難病患者の方

満七十歳以上の高齢者のみで構成される世帯の方  
満七十歳以上の一人暮らし世帯の方

母子健康手帳の交付を受けた方

(妊婦の方)

町では一人でも多くの要援護者に必要な支援ができればと考えています。災害時に支援をしてもらいたいが、対象とならず不安に思われる方は、ご相談ください。各自主防災会などの支援をできるだけ広く受け入れられるよう努めます。

登録方法

対象となる方には、町から申請書などを先月送付しました。町ホームページ防災交通課のページからも入手できます。申請書に必要事項を記入し、郵送してください。提出に期限はありません。

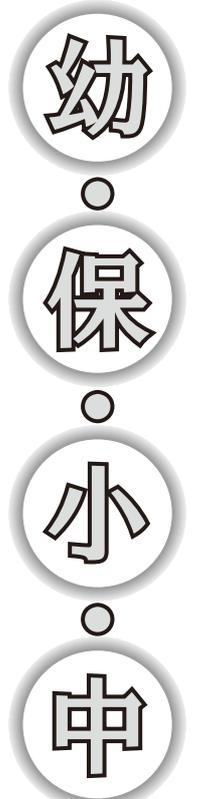
名簿登録された方へ  
登録しても、急病など119番通報時に救急車の手配が簡素化、最優先されるわけではありません。地域の支援者も災害時に必ずあなたのもとへ助けに行けるとは限りません。自分から周りの人と良い関係をつくるよう努力することも大切です。

地域で支援していただく方へ  
被災者の安否確認・避難誘導は、町災害対策本部が中心となって、地域の自主防災会などの協力を得て実施します。災害発生直後は、多くの地域住民の近隣同士の助け合いで、救出・避難した報告があるように、いざというときに頼りになるのが、近隣住民の皆さんであり、地域のコミュニケーションです。日常のコミュニケーションを通じて、災害時の支援にご協力ください。

# 阿久比町めざす子ども像

＝全国へ発信 60＝

## 一貫教育プロジェクト



乳児期 3歳未満

めざす子ども像 2歳	大人からの働きかけ (家庭または保育園)
<p><b>清潔</b> 顔や手足の汚れに気づき、手伝ってもらったり、ひとりで洗ったりする。</p>	<p><b>清潔</b> 身の回りの清潔の習慣(手洗い・髪・爪・鼻をかむ・歯磨き・持ち物の始末など)が少しずつ身に付くように、くり返し一緒にしながら教え、きれいになった心地よさを感じることができるようになる。</p> 
<p><b>睡眠</b> ♥ 落ち着いた雰囲気の中で、十分に眠る。</p> <p>👉 ワンポイントアドバイス!</p>	<p><b>睡眠</b> ♥ ぐっすり眠れるように環境づくりをする。</p> <p>♥ 眠気のサインを見のがさないようにする。 (眠くなると 指をしゃぶる・頭をかくなど)</p> <p>👉 ワンポイントアドバイス!</p>
<p>心休まる家庭での睡眠 しっかり食べて、たっぷり遊ばせる。 お母さんや家族が穏やかな気持ちで寝せる。 寝るときの雰囲気づくりを大切にする。 例えば・・・歯を磨いてもらって“おやすみなさい”をする。 ほっぺにチューして、絵本を読んでもらうなど毎日の習慣にするとよい。 お昼寝をさせすぎない(2時間くらい)。 朝起きる時間を決めて寝過ぎないようにする。</p> 	<p>乳児期に必要な睡眠時間は、一日13時間です。睡眠不足は、情緒不安定・無気力・集中力欠如などをひきおこすことがあります。朝7時に起きて日中よく遊ばせ夜静かに過ごせば、就寝時間は自然に早まり睡眠時間も十分確保できます。</p> 

幼児教育部会が作成した「阿久比町めざす子ども像」の中から、今回は2歳児の「めざす子ども像」と「大人からの働きかけ」の「清潔」と「睡眠」を紹介します。家庭教育の参考にしてください。

## プロジェクト推進の機運を高める



阿久比町現職教育発表会が2月5日エスペランス丸山で行われました。

この日は、阿久比中学校と体育主任者会からの研究発表と、幼保小中一貫教育プロジェクトの5部会から活動内容や今後の取り組みの提言などが報告されました。

幼児教育研究部会からは「幼稚園・保育園統一カリキュラム」を、今年度から作成していることが報告され、実践を重ねながらより良いカリキュラム作りを目指す方向性などが示されました。

小中学校、幼稚園・保育園の教職員のほかにも保護者や地域の方の参加もあり、一貫教育プロジェクト推進の機運を高めました。

# めざせ!ハッピーライフ あぐい21

## 健康日本21あぐい計画

問い合わせ先 環境衛生課保健係

☎(48)1111(内311・312)

一年に一度は

がん検診を

がんは、日本人の死亡原因の第一位で、死亡原因の三分の一を占め、がんで亡くなる方の数は年々増えています。

早期発見・早期治療により、治すことが可能な場合も多くあります。町では次のとおりがん検診を行います。一年に一度はがん検診を受け、早期発見に努めてください。

### 平成22年度がん検診日程表

種別	実施日	受付時間	対象 (22年度になる年齢)	料金 (70歳以上は無料)	定員	検診方法
胃がん	4月16日(金) 4月19日(月)	午前9時～ 午前11時	40歳以上	1,000円	各100人	バリウム検査
大腸がん	5月31日(月) 7月21日(水)		40歳以上	500円	各100人	便潜血検査
前立腺がん	9月7日(火) 11月11日(木)		50歳以上	600円	各30人	血液検査
乳がん	6月1日(火) 7月22日(木) 8月1日(日) 9月8日(水)	午前9時～ 午前11時 午後1時～ 午後2時20分	40歳以上 (印の日は20歳以上)	1,200円	無印の日と印の日は40歳以上70人、印の日は20歳～39歳50人	40歳以上 視触診+マンモグラフィ 20歳～39歳 視触診+超音波検査
子宮頸がん	10月18日(月) 11月30日(火) 12月9日(木) 1月7日(金)	午前9時～ 午前11時 午後1時～ 午後2時20分	20歳以上	700円	各100人	子宮頸部細胞診。 月経中は検査不可。
骨密度		午後5時30分～ 午後7時50分	40歳～70歳の5歳間隔の年齢になる女性	1,000円	各80人	足のかかとの超音波検査です。
レディースがん検診	4月14日(水) 4月15日(木) 5月17日(月) 5月18日(火) 8月6日(金)	午前9時～ 午前11時	胃・大腸・乳・子宮頸がんのすべての検査を希望する40歳以上の女性	3,400円 (骨密度検査をする場合は4,400円)	各50人	胃がん・大腸がん・乳がん・子宮頸がん・骨密度検診を同時に実施、骨密度は22年度に40歳～70歳の5歳間隔の年齢になる方が対象。

検診はオアシスセンター1階保健センターで行います。

三月十九日(金)午前八時半から申込受付を行います。オアシスセンター1階保健センターへ申し込みください(電話も可)。

### 三月は「自殺対策強化月間」です

国では例年自殺者が特に多い三月を、「自殺対策強化月間」と定めました。

自殺は、個人の自由な意思や選択の結果ではなく、さまざまな問題が複雑に絡み合い、心理的に追い詰められた末の死です。

自殺を考えている方が多くが「眠れない」、「原因不明の体の不調が長引く」、「自殺を口にする」など何らかの危険を示すサインを発しているといわれています。

私たち一人一人が、こうした心のSOSに早期に気づき、専門の相談機関、医療機関への相談につなげていくことが、自殺を防ぐ大切な第一歩です。

愛知県では、期間中、県内各地で街頭啓発キャンペーンなどを実施します。さまざまな「相談窓口」も設置しています。ご利用ください。

【心の悩み相談】あいちこころほつとライン365 ☎052(951)2881 【半田保健所】 ☎(24)4699 【県民相談】中央県民生活プラザ ☎052(962)5100 【労働相談】県労働福祉課 ☎052(954)6375

問い合わせ先 県健康福祉部障害福祉課こころの健康推進室 ☎052(954)6621



## 「阿久比吹奏楽団」

## 「米粉でお菓子づくり」



日にち 1月31日

場所 エスぺランス丸山

阿久比町文化協会所属団体「阿久比吹奏楽団」が初コンサートを開きました。

事前に新聞記事で紹介されたこともあり、会場には約200人の観客が集まりました。

クラリネットアンサンブルやビートルズメドレーなど楽しい演奏が繰り広げられました。音楽に合わせて無意識に体が動く観客も見られ、コンサートは大盛況でした。



日にち 2月6日

場所 中央公民館本館

農村生活アドバイザーを講師に迎え「米粉でお菓子づくり」を開きました。

米粉や黒砂糖をこねて作る本格的な「ういろう」と、小麦粉の代わりに米粉を使った「お好み焼き」を作りました。

ういろうはモチモチに仕上がり、お好み焼きも小麦粉で作ったものに負けないくらい、ふっくらおいしく出来上がりました。

# 阿久比町地域包括支援センターをご利用ください

「阿久比町地域包括支援センター」は、高齢者の皆さんが、住み慣れた地域で安心して生活を続けられるように支援を行う総合機関です。保健師・主任ケアマネージャー・社会福祉士が中心となって、高齢者の皆さんの生活を支援します。どこに相談してよいかわからない心配事や悩み事などがある方は、気軽にご相談ください。

介護のことで、誰かに相談したい。



財産管理に自信がなくなってきて、心配。



要支援1・要支援2と認定され、介護予防サービスを利用したいな。

近所の一人暮らしのお年寄りで、心配な人がいるんだけど...

< 問い合わせ先 >

阿久比町地域包括支援センター(阿久比町役場内) ☎(48)1111(内318・319)

開設時間 午前8時30分～午後5時15分

# みんなの童話

## 赤いカツパのお地蔵さん



町のはずれに、だれが着せたか赤いカツパを着た、おじぞうさんが、立っていました。

ある日のことでした。スケッチブックを持った、おばあさんが、おじぞうさんの前を、通りかかると、つえをついて、お花を持ったおじいさんが、おじぞうさんにお参りしているのに出会いました。おばあさんは足を止めて、おじいさんに声をかけました。

「こんにちは、どなたかお知り合いの人の、おじぞうさんですか」

おばあさんは、おじぞうさんのことが、気になっていたのです。声をかけると、おじいさんは、花を石の上に置いて、ていねいに手

を合わせて、長くお祈りをしてから、ふりむきました。おばあさんはきつと、おじいさんの知っている人がおまつりしてあるのだと思いました。

「わしもよう知らんが、朝の散歩にここまで来ると疲れるので、毎日ここで、ひと休みさせてもらうので、花を一本そなえるだけじゃよ」

おばあさんは、となり町から、ときどき、この山をスケッチに来ます。県道から山道の方へ行く角の所に、おじぞうさんは、まつつてあります。

おじぞうさんの前でお参りする人も、お花があるのを見たことがなかったの、何だか心があたたかくなり、おばあさんも、手を合わせました。そのとき、

「このじぞうさんには、あわれな話が伝えられているのだよ」

おじいさんの目は、かなしそうな目でした。

「昔のことだが、この村に仲良し

の、太郎と千代という子供がおったんじゃ。ところが其のころ、この村は、山ばかりで田んぼがなく、米がとれず、子供たちは食べるものがなく、野原に出ては、食べられそうな物をさがして、食うとつたげな」

おじいさんは急に立ち上がり、おじぞうさんの、後ろあたりに、今も残っている林の方へ、指をさして、

「あの林の中に、一本の柿の木を、太郎が見つけたのじゃ、それが赤く色んでいたの、太郎は千代に、柿、取つてやる」

と言つが早い、危ないと言つ声も聞かずに登つて、一こをつかんだが、そのとき、ポキンとその枝が折れて、太郎が「ドスン」と大きな岩の上に落ちてしまったのじゃ。千代の泣き叫ぶ声で、村人たちが来た時には太郎の息はなかった。手には真っ赤な柿をしっかりと持っていたそう。

その日から、千代は毎日、柿一こを持って、あの岩の上に来ては、泣いとつたげな。柿の実は、からからと種ばかりになつても、手から放さず、千代は、その岩の上で、天国の太郎の所へ逝つてしまったそう。このじぞうは、そ

んな二人のために、立てられたと言つ事だわな」

おじいさんの、ながい話は終わりました。おばあさんの目からは、涙がながれました。おじいさんの話は、まだ終わりません。

「それから、じぞうの立っている場所のことだが、昔、昔、大昔の話だが、山の中に細い道があつて、北の村と、南の村の境のしるしに大きな松の大木があつたそう。

その松の木を目印に、北からと南からの若い二人の合う場所だつたと言つことで、愛の松の木と言われていたのじゃ、その松の木が枯れた後に、太郎と千代の、子供の愛を記すために、その場所を選んで、太郎と千代の、じぞうが立てられたのじゃ」

今では、太郎と千代じぞうを、愛のじぞうさんと、若い人たちがお参りするそうです。

春の雨はまだ寒く、

だれが着せたか、

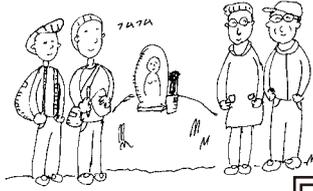
赤いカツパの

おじぞうさん。

しろやま会員 中川 かなめ

# シリーズ

## 阿久比を歩く ①①⑨



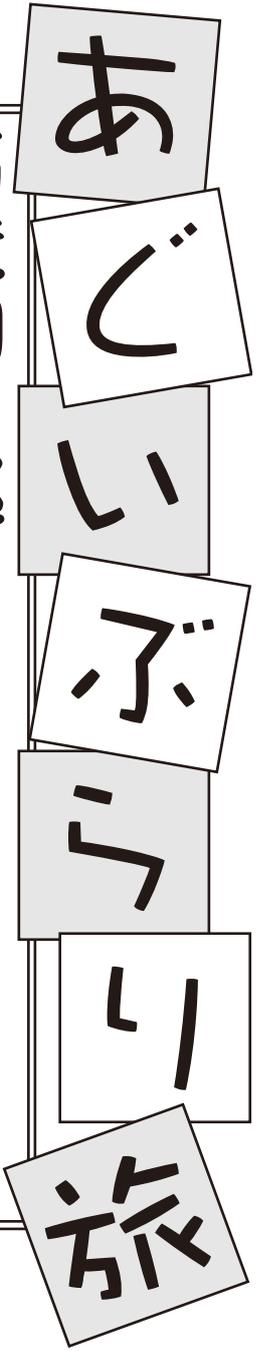
“逸話が多く残る唐松の井戸”

椋岡地区の平泉寺南付近を友人と二人で歩く。立春は過ぎたが、風は冷たく肌寒い。

最初に「唐松の井戸」を見る。古井戸はガードレールを隔てた田んぼの一角にあり、四方を柵で囲まれる。いびつな二十個ほどの大きな石が井戸を囲む。今まで見てきた手の加わった地藏や石碑とは違うが、「石造物」として紹介される。

唐松の井戸には、いくつかの逸話

### 石造物を巡る(阿久比・椋岡・矢口・高岡コース⑤)



が残る。

平安時代、天台宗山門派の祖慈覚大師(円仁)は淳和天皇の命により平泉寺を開創したと伝わる。その慈覚大師は日照りで水に苦しむ村人を助けたとされる。

井戸には一滴の水もない。大師は道に落ちていた石を拾って、ふき清め、経文を書き井戸の中に投げ入れる。一心不乱に読経をすると水がこんこんと湧き出してきた。

慈覚大師が祈とうしたゆえんで「延命の水」としてのうわさが広まり、遠方から水をくみに来た人もいたようだ。

「いつも元旦には井中に松影見るとなん。されども近きあたりに松の木なし」(『尾張名所図会巻六』)。

地元の人が井戸の周りに松を植えても枯れてしまうとのこと。不思議な場所でもある。古井戸に水がたまる。濁った水に映るものはない。

神秘的な場所を後にして、道幅一メートルほどの細い坂道を北に向かう。上り切った場所の右側にこんも

が残り、盛り上がった塚がある。塚のてっぺんに高さ三十センチほどのかわいらしい地藏が立つ。

「平泉寺南の地藏尊」。この地藏も慈覚大師とつながる。町文化財調査報告書では、「生き埋めとなった賊の悪霊にうなされる里人を救うために、慈覚大師が地藏尊を建立した」と解説。

塚のすぐ後に建つ民家を訪ねる。夫婦で地藏にまつわる話をしてくれた。「お花を供えて話しをすると、不思議ですが穏やかな気分になります。元気で暮らせるのもお地藏さんのお陰かなあ」と奥さんは笑顔で話す。

「唐松の井戸、地藏さん、平泉寺の本堂が立つ場所は一直線上にあると聞いたことがありますよ。慈覚大師との深い因縁ですかねえ」とご主人が説明してくれた。

知多四国十六番札所平泉寺に立ち寄る。本堂前に立ち、「地藏尊」、「唐松の井戸」の方角を眺めた。「うまく言えないけど、何か感じるよね」、「そうですね」。静かに境内を去った。



塚のてっぺんに立つ地藏尊

# 固定資産価格の縦覧などを行います

## 固定資産価格等の縦覧

固定資産税の納税者（土地・家屋の所有者）が、町内の他の土地・家屋との価格（評価額）の比較ができるように、平成22年度の土地・家屋の価格などが登録されている「土地価格等縦覧帳簿」と「家屋価格等縦覧帳簿」を次のとおり縦覧します。

縦覧場所 役場税務課

縦覧期間 4月1日(木)~30日(金)午前8時30分~午後5時15分

土曜・日曜日、祝日は除く。

縦覧の対象

- ・ 土地価格等縦覧帳簿  
土地の所在、地番、地目、地積、価格が記載されています。
- ・ 家屋価格等縦覧帳簿  
家屋の所在、家屋番号、種類、構造、床面積、建築年、価格が記載されています。  
土地の所有者は「土地価格等縦覧帳簿」を、家屋の所有者は「家屋価格等縦覧帳簿」をご覧になることができます。

手数料 無 料

写しの交付 不 可

縦覧に必要なもの

- ・ 納税者本人であることが確認できるもの（納税通知書または課税明細書など）
- ・ 納税者以外の方は、委任状および代理人本人であることが確認できるもの（官公署発行の書類など）

## 固定資産課税台帳の閲覧

固定資産課税台帳の納税者本人に関する部分については、いつでも閲覧できます。また、借地人・借家人などの方も閲覧できます。

閲覧場所 役場税務課

閲覧期間 通常の役場の業務時間内

手数料 200円

縦覧期間（4月1日~30日）の間は無料

写しの交付 可（手数料1枚10円）

閲覧に必要なもの

- ・ 本人であることが確認できるもの
- ・ 借地人などについては、その権利を示す書類（賃貸契約書など）
- ・ 本人以外の場合は、委任状および代理人本人であることが確認できるもの

## 審査の申出

自己の所有する固定資産の価格に不服がある場合は、固定資産評価審査委員会に審査を申し出ることができます。審査申出期間は、4月1日から納税通知書の交付を受けた日後60日までです。ただし、平成22年度に新しく登録された価格に限ります。

問い合わせ先 税務課固定資産税係 ☎(48)111(内218)

# — 野焼きは禁止されています —

「臭いがつくので洗濯物や布団が干せない」「子供がぜんそくでせき込む」「煙が部屋に入ってくるので窓が開けられない」など、住宅地での枯れ草・ごみの焼却（野焼き）に対する苦情が寄せられています。

野焼きについては、農業などを営む上でやむを得ない焼却、慣習や宗教的行事で使われたお札やしめ縄の焼却など一部の例外を除き、禁止されています。違反者には罰則も規定されています。

例外に当てはまる焼却であっても、他人に迷惑を及ぼすような焼却は認められません。周囲に迷惑をかけないようにすることが大切です。

再資源化できるものは燃やさずに資源としてリサイクルに努めましょう。リサイクルできないものは廃棄物として、行政が回収できるごみについては、指定日に指定場所へ出してください。回収できないごみや事業者から出たごみは専門処理業者で処分をするなど適正に処理してください。

問い合わせ先

環境衛生課環境係 ☎(48)111(内310・317)

# お知らせ

## 創作イベント 「からふるめ〜」を開催

地域活動支援センターあんどでは、障害のある方が参加できる創作活動のイベントを、アトリエAndante(あんだんて)との共同企画で開催しています。

今回のテーマは「絵を描こう」です。

日時 三月二十日(土) 午前十時〜正午

場所 地域活動支援センターあんど元浜事業所(東海市元浜町10)  
対象者 身体障害、知的障害、精神障害のある方および障害のある児童

参加費 四百円

定員 十人(先着順)

応募期間 三月九日(火)〜三月十日(木)

問い合わせ先 地域活動支援センターあんど元浜事業所 ☎0562(39)2778 電子メール shen@vanillaocn.ne.jp

## 知ってますか？ 検察審査会

交通事故、詐欺、おどしなどの犯罪被害に遭い、警察や検察庁に訴えたが、検察官がその加害者を起訴してくれない。このような不満を持っている方のために検察審査会があります。

検察審査会では、選挙権を有する

一般国民の中から「くじ」で選ばれた十一人の検察審査員が、検察官が加害者を起訴しなかったことの善しあしを審査します。

問い合わせ先 名古屋地方裁判所 半田支部庁舎内半田検察審査会事務局 ☎(21)0372

## 自衛官を募集

自衛官を次のとおり募集します。

募集種目	受験資格	受付期間	試験期日
一般・技術 幹部候補生	平成23年4月1日現在、20歳以上26歳未満の方(22歳未満は大卒(見込含))、大学院修士学位取得者(海上技術幹部候補生志願者は、理工学修士学位取得者に限る)及び自衛官は28歳未満の方	4月1日 ~ 5月10日	1次 5月15日 筆記試験(5月16日は飛行要員のみ) 2次 6月15日~17日のうち指定する1日 3次 7月14日~8月5日(飛行要員のみ)
	平成23年4月1日現在、専門の大卒(見込含)20歳以上30歳未満の方(薬剤は26歳未満の方(薬学修士学位取得者は28歳未満))		1次 5月15日 2次 6月15日~17日のうち指定する1日
一般曹候補生	平成23年4月1日現在、18歳以上27歳未満の方	4月1日 ~ 5月10日	1次 5月22日 2次 6月23日~28日のうち指定する1日

問い合わせ先 自衛隊半田地域事務所 ☎(21)0004 HP <http://www.mod.go.jp/pc/aichi/>

## 「るびあん2011合同会社説明会」を開催

知多地域学生就職情報センターでは、来春卒業予定の学生に知多地域の企業を紹介する「るびあん2011合同会社説明会」を開催します。

会場のブースでは、企業の人事担当者と直接話が聞けます。個人相談、職業適性診断や就職セミナーなど就職活動をサポートするコーナーも設置しますので積極的に活用してください。

さい。

日時 三月二十五日(木) 午前十時〜午後四時

会場 半田市福祉文化会館(雁宿ホール) 講堂

問い合わせ先 阿久比町商工会 ☎(48)7085、半田商工会 ☎(21)0311

HP <http://www.shuushoku.or.jp/>

携帯端末用アドレス <http://www.shuushoku.or.jp/m/>

## 「里なび研修会 in 愛知」参加者を募集

愛知県では、県土の生物多様性を将来にわたって確保するため、保全すべき自然環境や優れた自然条件を有する地域を核とする「生態系ネットワーク」の形成に取り組んでいくこととしています。

生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)開催年となる今年、知多半島をはじめ、県内3カ所でNPOなどの活動団体、大学・研究機関、企業、行政が連携して、「生態系ネットワーク形成モデル事業」に着手します。

事業の一環として「里なび研修会 in 愛知」を開催します。

テーマ

「生きもののつながりを創る知多半島生態系ネットワークの形成に向けて」

日時 3月6日(土) 午前10時〜午後3時30分

会場 日本福祉大学 半田キャンパス 101 講義室(半田市東生見町26-2)

主催 環境省

共催 愛知県、日本福祉大学

募集人数 150人程度(先着順)

参加費 無料

申し込み・問い合わせ先

参加希望者の氏名・連絡先を記入し、以下の窓口のいずれかに、電話・ファックス、電子メールで申し込みください。

財団法人水と緑の惑星保全機構 里地ネットワーク

☎03 5404 4846 FAX 03 5477 2609

電子メール h21@satonavi.go.jp

愛知県環境部自然環境課生態系ネットワークグループ

☎052 954 6229 FAX 052 963 3526

電子メール shizen@pref.aichi.lg.jp

その他 学内の食堂は営業しませんので、昼食は各自で用意してください。

ご寄付ありがとうございます

あいち知多農業協同組合 様  
阿久比町へ現金三十万円をご寄付  
いただきました。

二月九日、鈴木忠由あいち知多農  
業協同組合副組合長から「JAあい  
ち知多十周年記念事業のテーマの一  
つ『福祉・健康の増進』に活用して  
ください」と町長へ目録の贈呈があ  
りました。

知多乾海苔問屋協同組合 様  
町立保育園全園児（六百六人）へ  
「節分の丸かぶり焼海苔」をご寄付  
いただきました。

### 3月定例議会を開催

平成22年阿久比町議会第1回定例会  
を次のとおり開催します。

日時

3月4日(木) 午前10時～

問い合わせ先 議会事務局

☎(48)1111(内241)



知多乾海苔問屋協同組合の代表者



目録を町長へ手渡す副組合長

折ネカシ 年頭に輝く皇居式映える  
折ネカシ 年賀状家族揃った写真載る

年賀状 手書きの書画に幸こもる  
年賀状 墨の匂に心見る

年賀状 無沙汰の便り書き添える  
年賀状 南 比左子

年賀状 新美 善夫

### 狂俳英比会 新春祝賀の巻

めでたいわ 米寿の祝い笑顔寄る  
めでたいわ 住ノ江雅子

めでたいわ 苦楽越え金婚祝う  
めでたいわ 北村久美子

めでたいわ ひ孫玄孫に囲まれる  
めでたいわ 加藤 莊吉

ダイヤの指輪 連れ添う六十年光満つ  
ダイヤの指輪 長谷川瑞一

ダイヤの指輪 女心をとろけさす  
ダイヤの指輪 山内 和子

亜熱帯の街にも秋のめぐりきて木犀は丹の絨毯広ぐ  
蠟梅の根は知らぬまに抜けいでて地球をつかんで鉢うごかせず  
懸命に生きるはかなし散るゆえにせつに色づく紅葉思えば  
爽やかな鳩山総理と思いが金の悪魔がそつとしのびぬ  
ばちやぼちやとしわしわの手と手を合せタッチバイバイ幼は帰る  
観戦のざわめき一瞬静まりぬ一年生の徒競走終りて

岡本 育与  
長坂吉余子  
田中 太平  
山口 昇  
山本ささ子  
竹内 久恵

山崎 淳子  
桃井 昌子  
木村 久世  
佐野 雄造  
大村寿美子  
橋立 智子

### 阿久比町短歌の会

我が予定孫には譲り笑顔もてちよっぴり疲れる別れた後は  
孫たちの成長夢に柿蜜柑てし亡父母の想いを頂く  
落日の水面に映る陽の光海の中にも優しく差し込む  
悠悠と青空に浮く白雲の離合集散人の世に似る  
初會孫の字にならぬ文字判読も楽し吾への誕生祝  
冷えきった我が心根に月影の光一筋癒される今夜

山崎 淳子  
桃井 昌子  
木村 久世  
佐野 雄造  
大村寿美子  
橋立 智子

山崎 淳子  
桃井 昌子  
木村 久世  
佐野 雄造  
大村寿美子  
橋立 智子

山崎 淳子  
桃井 昌子  
木村 久世  
佐野 雄造  
大村寿美子  
橋立 智子

山崎 淳子  
桃井 昌子  
木村 久世  
佐野 雄造  
大村寿美子  
橋立 智子

# ご家族でお出掛けください

## 第13回 阿久比町福祉のつどい

《日 時》 3月21日(日) 午前9時30分～午後3時  
 《会 場》 中央公民館本館・南館、役場駐車場

記念式典(表彰)	1	午前9時30分～午前10時	公民館南館ホール
講演会 講師 辻井いつ子 氏 *		午前10時～午前11時30分	公民館南館ホール
お楽しみ抽選会		午前11時30分～正午	公民館南館ホール
太鼓演奏「三宅島太鼓」演奏:町立保育園年長組		午後1時～午後1時30分	公民館南館ホール
クラウンショー 出演:カノン・潤・なっつ		午後1時30分～午後2時30分	公民館南館ホール
福祉体験コーナー	2	午前9時30分～午後3時	外会場
(手話・点字・車いす・声の広報・福祉車両の5種類の体験ができます)			
相談コーナー		午前9時30分～午後3時	外会場
(阿久比町地域包括支援センター、知多地域成年後見センターによる福祉相談)			
ボランティアコーナー		午前9時30分～午後3時	外会場
(ボランティアの木、ボランティアグループ展示など)			
模擬店コーナー			
(焼きそば・だんご・駄菓子・綿菓子)		午前9時30分～午後3時	外会場
フリーマーケットコーナー		午前9時30分～午後3時	外会場
(衣類・手芸品・花苗・自主製品・うどん・フランクフルト・まぜご飯など)			
消防車・救急車体験	3	午前9時30分～午後3時	外会場
おもちゃ王国(移動おもちゃ)	4	午前9時30分～午後3時	公民館本館3階
(午前10時30分と午後1時30分の2回「王様ショー」を行います)			

\* 講演会の“入場整理券”配布はすでに終了しました。ご了承ください。

- 1 記念式典・講演会・お楽しみ抽選会には手話通訳とパソコン筆記が付きまます。
- 2 福祉体験コーナーは、スタンプラリーになっています。5種類のうち3種類を終了した方に抽選で記念品(南知多ビーチランド親子ご招待券)をプレゼントします。(100組)
- 3 天候、緊急時などの理由で、消防車・救急車体験は中止となる場合があります。
- 4 おもちゃ王国王様ショー後に抽選で記念品(南知多ビーチランド親子ご招待券)をプレゼントします。(各回25組)

問い合わせ先 阿久比町社会福祉協議会 ☎(48)1111(内252・332)



### 阿久比町民憲章

わたしたち阿久比町民は、ここに町民憲章を定め、よりよい町づくりに努めることを誓います。  
 ホタル飛びかう、豊かな自然を守ります。  
 歴史と伝統を守り、教養を高めまます。  
 スポーツに親しみ、健康で明るい家庭をつくりまます。  
 オアシス運動をすすめ、笑顔あふれるまちをつくりまます。  
 ボランティア活動に、すすんで参加します。



### 人口と世帯



世帯数 8,676 (+21) 1月中の異動  
 人口 25,317人(+33) 出生 20 転入 80  
 男 12,542人(+18) 死亡 17 転出 50  
 女 12,775人(+15)  
 ( )は前月との増減数 平成22年2月1日現在

